

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		きみそらBase登戸				公表日	2025年3月24日		
		公表日				利用児童数	12人	回収数	66%
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見 ※ない場合は「-」	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100.0%	-	-	-	-	ありがとうございます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	100.0%	-	-	-	-	ありがとうございます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	87.5%	12.5%	-	-	-	お子様一人あたり4㎡以上の床面積が確保されています。(ガイドラインより)	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100.0%	-	-	-	-	ありがとうございます。	
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100.0%	-	-	-	-	ありがとうございます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100.0%	-	-	-	-	ありがとうございます。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100.0%	-	-	-	-	ありがとうございます。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100.0%	-	-	-	-	ありがとうございます。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100.0%	-	-	-	-	ありがとうございます。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100.0%	-	-	-	-	ありがとうございます。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	62.5%	-	25.0%	12.5%	-	上階「きみそら学童」との関わりを積極的に関わりを持てる交流を増やしていきたいとおもっております	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100.0%	-	-	-	-	ありがとうございます。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100.0%	-	-	-	-	ありがとうございます。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	100.0%	-	-	-	-	ありがとうございます。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	100.0%	-	-	-	-	ありがとうございます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100.0%	-	-	-	-	ありがとうございます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100.0%	-	-	-	-	ありがとうございます。	
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	100.0%	-	-	-	-	ありがとうございます。		

	19	ごどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、ごどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100.0%	—	—	—	オンラインでの面談対応をしていただき、感謝です。	引き続き、ご家庭にあわせてオンライン・対面などを行って参ります。
	20	ごどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100.0%	—	—	—	—	ありがとうございます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をごどもや保護者に対して発信されていますか。	100.0%	—	—	—	—	ありがとうございます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100.0%	—	—	—	—	ありがとうございます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	100.0%	—	—	—	—	ありがとうございます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	100.0%	—	—	—	—	ありがとうございます。
	25	事業所より、ごどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100.0%	—	—	—	—	ありがとうございます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	75.0%	—	—	25.0%	—	（まとめを行った3月13日迄）事業所全体で通院を要した怪我は、2件です。緊急を要した電話での連絡・事業所無いで処置でのものは帰宅時（送迎時）にお伝えしております。
満足度	27	ごどもは安心感をもって通所していますか。	100.0%	—	—	—	気持ちにより波はある	お子様に安心できるように行って参ります。
	28	ごどもは通所を楽しみにしていますか。	75.0%	25.0%	—	—	成長によるものなのかもしれないが、行き渋りが強くなってきた。	さらにワクワク通所してもらえるように尽力してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100.0%	—	—	—	—	利用されるお子様だけでなく、保護者のみなさんにもご満足いただけるように尽力してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	きみそらBase登戸	公表日	2025年3月24日
------	------------	-----	------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100.0%	—	—	—
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100.0%	—	—	—
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	66.7%	33.3%	少しずつ環境整備をしながら、子どもたちが迷わずにできるよう配慮していると思います。	<ul style="list-style-type: none"> もう少し見やすくしていきたい 視覚的な物の配慮が不足している 午前（児童発達支援）→午後（放課後等デイサービス）への切り替えやそのままになっていることがある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	83.3%	16.7%	—	<ul style="list-style-type: none"> 片付けなどの時間が作れていない 朝清掃はできているが、お昼での掃除は行っていない
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100.0%	—	ピグマリオンや友だちの良いところ探しをサークルタイムで行っていると思います。	—
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	66.7%	33.3%	児童発達支援同様に、会社としての見直し（目標・評価）がある	<ul style="list-style-type: none"> もう少し、回数が多くてもいいと思う 忙しすぎてこなすので終わっているように感じます もっと時間を作っていき話し合う
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	—	—	今回は初めて
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	—	意見を伝えると真剣に受け止めてくれます	業務”改善”までは、時間を要することもある
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	83.3%	16.7%	—	—
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%	—	—	—
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0%	—	少しずつ、職員間でフィードバックをしながら改善されていると思います。	—
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100.0%	—	アセスメントをし、こどもへの療育も見直しをしている	—

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	—	—	もう少し頻繁にあってもいい
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%	—	—	—
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	66.7%	33.3%	—	—
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%	—	—	—
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.0%	—	—	しているが、細かいところまで出来ていない
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%	—	色々な意見を聞きながら新しい情報を取り入れている	固定化が見られる
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%	—	個々の利用時間を見ながら療育を進めている	—
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	50.0%	50.0%	—	・必ずと言われると疑問が残る。 ・役割分担は出来ていない ・“必ず”は行えていない
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	50.0%	50.0%	—	・意識的に退勤する前に、5分以内で話し合いができるのと良いかなと思います。 ・振り返りが出来ていない ・“必ず”は行えていない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	83.3%	16.7%	・全員が毎日確認する記録がある ・支援についてや情報について	“検証・改善”になっていない…その日限りになっている
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	—	—	—
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	100.0%	—	—	—
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100.0%	—	—	・絵カードやジェスチャーなどを通して一人一人の特性に合わせて思いを伝えられるような環境を作っています ・その子に合わせて選択、選択肢を作る
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0%	—	—	—	

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100.0%	—	—	—
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	83.3%	16.7%	—	・学校との情報共有は行っていない。 ・保護者またはWAKUWAKU経由であることが多い
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	83.3%	16.7%	就学にもむけてなど必要に応じて行っている	就学前の場所との情報共有はされていない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	66.7%	33.3%	—	・まだ経験していない ・利用者の対象がいらない為していないが、今後必要があれば提供はする ・該当者がいないため、実施していない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	66.7%	33.3%	—	ないです。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100.0%	—	・学童とのかかわりを持ったり、お祭りなどの行事、休み中のイベントとして地域に出かけていく ・民間が上階で行っている	・WAKUWAKU（公的）とはない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100.0%	—	小野が参加しています！	わからない
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	—	—	—
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100.0%	—	—	—
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	—	—	—
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	—	—	こども用支援計画は。着手・実行できていない
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100.0%	—	—	—
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	—	—	—
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100.0%	—	パパ会ママ会	—
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	—	—	—	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	—	—	—
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	—	個人の携帯で撮った写真の管理	—
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	—	—	—
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100.0%	—	行事のチラシを配ったり、掲示したりしている	—
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	83.3%	16.7%	—	もっと・行う必要がある
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	—	避難訓練実施	もっと・行う必要がある
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.0%	—	—	全体把握はできていない。小野のみになりがち
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	66.7%	33.3%	—	意思からの指示書はない（保護者からの訴えのみ）
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%	—	—	全員の周知がまだ
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	83.3%	16.7%	—	—
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	83.3%	16.7%	—	再発防止にはつとめていない
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	—	委員会を開き確認、共通理解に繋げている	—
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100.0%	—	—	—	

(公表) 事業所における自己評価総括表 / 放課後等デイサービス

○ 事業所名	きみそらBase登戸 (放課後等デイサービス)	
○ 保護者評価実施期間	2025年2月28日 (金) 19:30 から 2025年3月10日 (月) 18:00まで	
○ 保護者評価有効回答数	対象者 12人	回答者数 8人 (66%)
○ 従業員評価実施期間	2025年2月28日 (金) から2025年3月10日 (月) 18:00まで	
○ 従業員評価有効回答数	対象者 6人	回答者数 6人 (100%)
○ 事業者向け自己評価作成日	2025年 3月 22日	

○分析結果

	事業所の 強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の願い思いに沿っている	面談での保護者の想いなどをキャッチして、計画や支援に役立っている	学校との連携
2	子どものやりたい事を組み上げている	子どもとよく会話をしながら思いをキャッチしている	・時間の工夫 (好きな事やりたい事ができる時間) ・プログラムの工夫
3	会社内に色々な資源がある	系列等との連携 (保育園施設・スポーツ課・学童・英語・お茶教室)	・専門性をさらに活かす ・さらなる連携の仕方

	事業所の 弱み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	交流 (同年代)	学童さんとの交流の時間	様々な曜日での設定
2	活動時間	特性を生かした集団プログラム	特性に配慮した集団活動への参加支援
3	年齢差がある	その子に合わせた役割を持てるように配慮している	年齢などに合わせた時間配分を工夫していく